【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2001-68041(P2001-68041A)
【公開日】平成13年3月16日(2001.3.16)
【出願番号】特願平11-238776
【国際特許分類第７版】
　ＨＯ１Ｊ　29/86
【ＦＩ】
　ＨＯ１Ｊ　29/86　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年4月21日(2005.4.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ほぼ矩形の画像表示域を有する真空外囲器において、少なくとも画像表示域は、真空に維持されている内部と接する内側の層がガラスからなり、外側の層が光透過性樹脂からなる複層材で本質的に構成されており、光透過性樹脂のヤング率E_Pがガラスのヤング率E_Gの１／１０～１／５の範囲であることを特徴とするディスプレイ用真空外囲器。
【請求項２】
　E_PがE_Gの１／１０～１／７の範囲であり、かつ光透過性樹脂の密度をρ_P、ガラスの密度をρ_Gとするとき、ρ_P^3 / E_Pがρ_G^3 / E_G未満である請求項１に記載のディスプレイ用真空外囲器。
【請求項３】
　複層材を構成するガラスの厚みが２ｍｍ以上かつ複層材の全体厚みの１／２以下である請求項１または２に記載の陰極線管ディスプレイ用真空外囲器。
【請求項４】
　複層材を構成するガラスの厚みが０．７ｍｍ以上かつ複層材の全体厚みの１／２以下である請求項１または２に記載のフィールドエミッションディスプレイ用真空外囲器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】

【表１】

名称	パネル	ガラスファンネル	フロントパネル
密度(g/cm^3)	2.78	3.00	2.77
ヤング率(kgf/mm^2)	7500	6900	7800
ポアッソン比	0.21	0.21	0.21
Ｘ線吸収係数(cm^{-1})	28	65	19

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
【表２】

	実施例１	比較例１	比較例２
フェース構造	２層	ガラス単層	２層
ガラス厚み	5mm	16mm	8mm
樹脂材料	Parmax	－	ポリカーボネート
樹脂厚み	14mm	－	20mm
撓み	0.7mm	0.5mm	0.8mm
最大引張り応力	10MPa	10MPa	11MPa
有効画面部重量	8.9kg	12.8kg	12.7kg